



ワクチン接種アドバイスセンター（新型コロナウイルスについて学ぼう）

医療従事者対象

5～11 歳へのワクチン接種：保護者に十分な情報を得た上で決定してもらう為に

### 感染予防

子供も大人同様、新型コロナウイルスに感染しやすいですが、概して重症化はしにくいです。けれども希には深刻な病気を引き起こすリスクがあります。

そのリスクはマオリ、パンフィックアイランドの国々、肥満や慢性呼吸器系の合併症を患っている子供達で 25 倍も高いです。2021 年 12 月迄のアメリカのデータでは感染した子供の 0.1～1.9 パーセントは入院しています。

希には後遺症として小児多系統炎症性症候群（Multisystem Inflammatory Syndrome in Children（MIS-C）又は Pediatric Inflammatory Multisystem Syndrome（PIMS）<https://www.cdc.gov/mis/mis-c.html>）を発症する事もあり、感染 2～6 週間後に心臓・肺・腎臓・脳・皮膚・眼・胃腸等の器官が炎症を起こします。

ワクチンはこの様な重症化を防ぎます。

### リスクの高い家族や友人を守る

子供は無症状である事も多いので知らずに移してしまう事もあります。ワクチンにより、老若男女を問わずにリスクの高い家族を守れます。

### 子供とティーンに対するワクチンの安全性

全体的にはワクチン接種後の重篤な副反応が起こることは子供では希です。

<https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/vaccines/safety/safety-of-vaccines.html>

けれども国内での新型コロナウイルスの蔓延により子供達にも重症化のリスクは高くなります。

ファイザーのワクチンを子供達に接種するにあたり、5 歳から 11 歳の 3,109 人に対し臨床試験が行われ、重篤な副反応は認められず、90 パーセントの感染防止効果が確認されました。<https://www.cdc.gov/mmwr/volumes/70/wr/mm705152a1.htm> 2021 年 10 月にはアメリカの FDA がファイザー・ビオンテック新型コロナウイルスワクチンの 5 歳から 11 歳（と 12 歳から 17 歳）への使用を緊急認可し、その後世界中で多くのこの年齢層への接種が行われてきています。

アメリカでの 800 万回以上の子供への接種歴では重い副反応は認められていません。心筋炎は報告されていますがティーンや 20 代よりは著しく少ない数です。

新型コロナウイルス・ワクチンの開発・認可・承認の過程についてはこのサイトに詳細があります。<https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/vaccines/distributing/steps-ensure-safety.html> オーストラリア、カナダ、イスラエル等、他の国も子供への接種を認可し、5歳から11歳への接種を始めています。

### リスクよりも利点が上回る

重篤副反応は希 <https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/vaccines/safety/safety-of-vaccines.html>

- 心筋炎：
  - ファイザー新型コロナワクチン接種後の心筋炎と心膜炎 は子供において報告されているが希で、ティーンや20代の特に男性においてより見受けられる。2回目摂取の翌週のデータで、100万回に54例が12歳から17歳の男性に確認されている。
  - 一般的に12歳から17歳の思春期には、5歳から11歳の子供に比べると他の要因で心筋炎になるリスクが高い。5歳から11歳の子供対象の治験においては心筋炎は起きていない。
  - アメリカのワクチン安全観察によると、ファイザーのワクチンを5歳から11歳の子供に800万人に投与した結果、ティーンや20代に比べて著しく低い確率で心筋炎や心膜炎が発症していた。
- アナフィラキシーは新型コロナウイルスのワクチンを含む如何なるワクチンにおいても起こりえるが、非常に希であり、通常のアナフィラキシー・アレルギーに対する方法で対処される。
- ファイザー・ビオンテック社のワクチンを含むどの新型コロナウイルス・ワクチンでも、子供が新型コロナウイルスに感染する事はない。  
<https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/vaccines/different-vaccines/mRNA.html>

### 副反応

接種後1～2日間に想定される副反応は、ティーンや20代の若者に比べ少ない。

- よくあるのは接種した腕の痛み、頭痛、疲労感である。これらの症状は通常48時間以内で消えるが、気になれば市販のパラセタモールやイブプロフェンで対応出来る。

ファイザーの新型コロナウイルス・ワクチンの心臓の炎症（心筋炎や心膜炎）のリスクは低いです。希に若者においてみられます。

保護者には、心配な副反応（動悸・呼吸困難）が見られればヘルスライン或いはGPに伝え、ひどい場合は111で救急車を呼ぶように話してください。

## 禁忌

以下に当てはまる子供は、決してファイザーの新型コロナウイルス・ワクチンを受けてはなりません。

- 前回のファイザー新型コロナウイルスワクチンでアナフィラキシーを起こした
- ポリエチレングリコール（PEG、マクロゴールとも）を含むこのワクチンの成分にアナフィラキシーを起こしたことがある
- ワクチン以外の理由が考えられず、経験豊富なワクチン投与者又は医療専門家が『深刻な副反応だ』と確定した症状をこのワクチンに対して呈した事がある

## 用心のための予防策

以下に当てはまる子供は、ワクチン接種後 30 分はその場で様子を見るかアレルギー専門家に相談する必要があります。

- 前回の接種時、又はこのワクチンの成分に対してアレルギー反応を起こした
- 他のワクチン、或いは他の薬剤に対してアナフィラキシーを起こした事がある
- アナフィラキシーを繰り返すマスト細胞症（肥満細胞症）で治療が必要

その子に出血障害があるかどうか、抗凝血剤を使用しているかどうかを必ず確認してください。安全な接種方法を取る為とどのタイミングで接種してもらうかの判断に不可欠です。

## 接種前に考慮すべき特異状況

### 心臓病を患っている子供

心臓の問題があった子供もファイザーの新型コロナウイルス・ワクチンを受けられますが、接種のタイミングをみなければならず、呼吸器系と小児科系の以下の状況を考慮する事が推奨されています。

- 過去 3 か月間に心筋炎或いは心膜炎を起こしていたかどうか
- 過去 3 ~6 か月の間に心炎を伴う急性リウマチ熱を患ったかどうか
- 急性非代償性心不全（ADHF : Acute decompensated heart failure）

### 免疫障害を持つ子供

ファイザーの新型コロナウイルス・ワクチン接種が強く推奨されています。弱毒化タイプではないので、新型コロナウイルス感染時のリスクが高い免疫障害を持つ子供達に安全なワクチンです。

### 新型コロナウイルスにかかった事のある子供

完治すればワクチン接種可能です。或いはひどい症状の後（PCR 検査等で確認された時）最大 6 か月後迄の間に接種できます。これはデータにより少なくとも 6 か月間は免疫により感染しにくくなる事が分かっているからです。

### 他のワクチンを接種して間もない子供

子供も、他のワクチン接種の前・後・同時期、いつでもこのワクチンを受けられます。

**子供への接種前に準備する事**

予防接種アドバイス・センターのサイトにガイドが載っています。

<https://covid.immune.org.nz/sites/default/files/2021-12/Vaccinating%205%20to%2011%20year%20old%20Fact%20Sheet.pdf>

医療従事者用にはこちらを参照ください。 <https://covid.immune.org.nz/covid-19-vaccines-nz/getting-vaccinated/5-11-years-old-covid-resources>

臨床事例に関するアドバイスはこちらへお電話してください

0800 IMMUNE (466 863) 朝 8AM – 夜 8PM, 7 DAYS PER WEEK 毎日